

令和7年度 第1学年 音楽科 年間指導計画・評価規準

学期	月	題材(学習内容)	内容のまとめ	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	オリエンテーション ・校歌・生徒会歌・腹式呼吸 仲間とともに歌う喜びを味わい、授業のルールを確認し、学習への意欲を高める	A 表現(歌唱)	曲想と歌詞の内容との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	旋律、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている
	5	情景と音楽との関わり ・「春」 音楽の特徴を、曲想や背景と関連付けて、その良さや美しさを味わう 楽器(アルトリコーダー)に親しむ 基本的な奏法を身に付け、簡単な曲が演奏できる	B 鑑賞 A 表現(器楽)	B 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。 A 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している また、楽器を演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け表現している。	B 音色、リズム、速度、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考えとともに、音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 A 曲の雰囲気を感じながら、どのように演奏するかについての思いや意図を持っている。	AB 曲想と音楽の関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞や器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	6	言葉と音楽との関わり ・「魔王」他 曲想の変化をもたらす音楽を形づくっている要素を知覚しながら音楽を味わい、言葉で表現する	B 鑑賞	曲想と音楽の構造と関わりについて理解している。	音楽と文学、演劇などと、どのように結びついているのかを聴き取っている。	歌と楽器の音色や奏法の特徴、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
	7 8	楽典(小学校の復習・簡単なリズム) 混声合唱への導入 ・「COSMOS」 曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現をする	A 表現(創作・歌唱)	音楽素材の特徴及び音の重なり方や構成上の特徴について表したいイメージを持ち、創作で表現できる。 音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、各声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、テクスチュア、強弱、構成を考えどのように音楽をつくるかについての思いや意図をもっている。 音楽の諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作や歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
2	9	混声三部合唱への取り組み ・「大切なもの」など パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫する	A 表現(歌唱)	A 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	A 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	A 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	10	日本の古くから伝わる合奏 ・雅楽「越天楽」 雅楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わう	B 鑑賞	B 音色、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考えとともに、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	B 曲や演奏に対する評価とその根拠、歴史における音楽の役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	B 地域や時代による音楽の特徴や様式の違い、音楽を支えている風土や文化、歴史、言語や発声の多様性に関心をもっている。
	11	楽器(箏)の奏法 基本的な奏法を身に付け、簡単な曲を演奏する	A 表現(器楽・創作)	A 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解しているとともに、楽器の特徴や響きと奏法との関わりについて理解している。また、音のつながり方の特徴を理解し、表したいイメージを創作で表している。	AB 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考えとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。また楽器の特徴を理解し、どのように演奏したり創作したりするかの意図を持っている。	A 和楽器に対する関心を持ち、意欲的に器楽表現や創作表現に取り組もうとしている。 B 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	12	日本の伝統音楽 ・箏曲「六段の調」 日本の伝統楽器に親しみ日本の音楽に親しむ。	B 鑑賞	B 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。		
3	1	情景と音楽との関わり ・「浜辺の歌」・「赤とんぼ」 日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫する 日本の民謡 音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう	A 表現(歌唱) B 鑑賞	A 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 B わが国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	A 歌詞の内容とリズム、旋律の動き、形式などの音楽を形づくっている要素を生み出す動きを感じ、度々ように歌うかについて思いや意図をもっている。 B 地域や時代による曲の特徴や様式の違い、音楽を支える風土や文化、歴史、言語や発声の多様性を感じ取り理解している。	A 曲種に応じた発声や美しい言葉の表現を生かして曲にふさわしい歌唱表現することに意欲的である。 B 地域や時代による曲の特徴や様式の違い、音楽を支える風土や文化、歴史、言語や発声の多様性に関心をもっている。
	2	アジアの諸民族の音楽 アジアの音楽の味わいと音楽を形づくっている要素の関わりを感じ取って鑑賞する 楽器(アルトリコーダー)での演奏 曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう	B 鑑賞 A 表現(器楽)	B 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、アジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 A 音楽の構造との関わりについて理解し、全体の響きや音色を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け	B 音楽の諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考えとともに、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	B アジア地域の諸民族の音楽の特徴と音楽の多様性に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 A 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	3	創作 音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	A 表現(創作)	創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。